

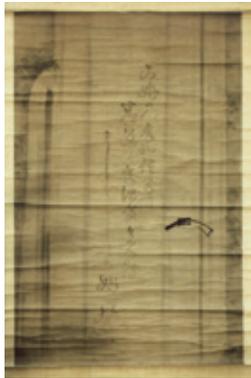
徳川斉昭・徳川慶喜と旧取手宿本陣

徳川斉昭との関わり

▶滝の和歌

天保 5 (1834) 年、水戸から江戸に戻る徳川斉昭は、取手の本陣に立ち寄り、壁紙に使っていた文谷筆の滝の画に和歌を書き込みます。壁紙は後に剥がされ掛け軸に仕立てられ、染野家の家宝として守り伝えられています。

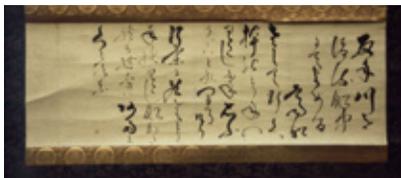
「山姫の 衣やさらす 春過ぎて 夏きて
そ見る しろ妙の (滝)」



滝の和歌

▶利根川の渡し和歌 (2 首)

天保 11 (1840) 年、水戸へ向かう斉昭は、利根川を渡る船中で和歌を 2 首詠み、その日は取手の本陣に宿泊します。翌朝、出発する斉昭は和歌 2 首を書いた紙を上段の間の袋戸に貼り付けていきます。この紙も後に剥がされ掛け軸に仕立てられ、大切に守り伝えられています。



利根川の渡し和歌

「さして行く 棹のとり手の わたしふね 思ふ方二ハ とくつきにけり」
「行末に さをもとり手の わたし船 わたれる世をハ あたにくらすな」

▶徳川斉昭が贈った歌碑

斉昭は、利根川の渡しの和歌の 1 首を特に気に入りに、天保 14 (1843) 年に表現を見直した和歌を石に刻み、染野家に贈っています。歌碑は本陣の裏山 (主屋の西側) に設置され、水戸徳川家と染野家の深いつながりを現在に伝えていいます。

「指て行 さほのとりての 渡し舟 おもふかた
へは とくつきにけり」

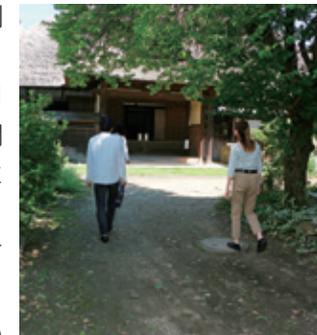


徳川慶喜との関わり

江戸幕府最後の将軍徳川慶喜は、本陣を 5 回利用しています。

江戸城無血開城の翌日の慶応 4 (1868) 年 4 月 12 日、取手宿本陣に立ち寄った慶喜は、式台玄関に駕籠を横付けせず、表門で駕籠を降りて草履に履き替え、式台まで歩いたと伝えられています。

明治維新後も、慶喜は何度か取手の地を訪れています。明治 31 (1898) 年 10 月 22 日には、弟であり最後の水戸藩主となった徳川昭武とともに稲村 (現取手市稲) で狩猟を楽しんでいます。その後も藤代や、布施村 (柏市布施) 辺りなど取手周辺で狩猟しています。



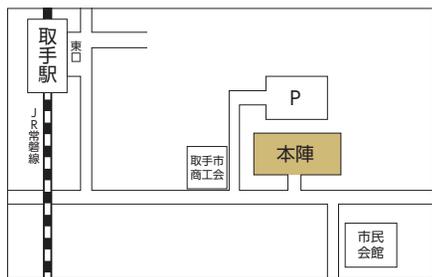
もっと詳しく知りたい方は

旧取手宿本陣染野家住宅とお堀の渡しは、市の魅力的な観光名所です。小堀の渡しでは斉昭のように利根川を渡ることができます。

また、取手ともゆかりの深い水戸徳川家と渋沢栄一とのつながりを 3 回の講座で取り上げます。

旧取手宿本陣染野家住宅の公開

公開日 毎週金・土・日曜日
(年末年始を除く)
時間 10:00 ~ 16:00
(入場は 15:30 まで)
料金 無料
所在地 取手 2-16-41



市民大学特別講座「徳川斉昭・慶喜・昭武と渋沢栄一」

埋蔵文化財センター ☎ 73-2010

今年の NHK 大河ドラマの主人公渋沢栄一は、徳川慶喜に仕えました。渋沢は、慶喜の弟の昭武 (後に最後の水戸藩主になる) に随行してフランスに渡り、明治時代になると「徳川慶喜公伝」を編さんしました。水戸徳川家と渋沢のつながりを、多方面から取り上げます。

第 1 回 徳川慶喜・昭武と渋沢栄一の物語 ~ 1867 年パリ万博と水戸のネットワーク ~

日時 11 月 20 日 (土) 14:00 ~ 15:30

会場 取手ウェルネスプラザ

講師 齊藤洋一氏 (松戸市戸定歴史館名誉館長)

◎大河ドラマ「青天を衝け」の時代考証を務めています。

定員 200 人

申込 郵送: 往復はがき宛先に講座名、代表者を含む 3 人までの氏名 (ふりがな)、代表者の住所、申し込み者全員の電話番号を、返信面にご自身の宛先を明記の上、〒302-0007 吉田 383 埋蔵文化財センター「市民大学特別講座」係宛て
電子: 専用フォームから申し込み※一度の申し込みで 3 人まで応募可



締切 10 月 29 日 (金) 必着

※第 2・3 回の申し込みは今後お知らせします。

特別イベント 本陣と小堀の渡し

埋蔵文化財センター ☎ 73-2010
小堀の渡し…水とみどりの課 ☎ 内線 1534

11 月に特別イベントを予定しています。旧取手宿本陣染野家住宅では水戸藩主直筆掛け軸の特別公開、小堀の渡しでは、期間中の金・土・日曜日限定で無料乗船を実施します。

※特別イベントの日程は今後お知らせします。



小堀の渡し

市制施行 50 周年記念事業

「目で見る取手の歩み」刊行

市制施行 50 周年を記念し、「目で見る取手の歩み」を刊行します。原始時代から令和 3 年までの取手の歩みを、写真や図を使い分かりやすく解説しています。

販売開始日 10 月 2 日 (土)

販売場所 埋蔵文化財センター、文化芸術課、生涯学習課、スズキオフィスシステム (白山 3-2-4)、河原崎書店 (藤代 502)
※文化芸術課、生涯学習課は 4 日 (月) からの平日のみ

価格 1,000 円 (税込)



表紙の一部抜粋



本陣を取り上げているページ

※刊行に併せて企画展を開催します。詳細は 8 ページをご覧ください。